



北斗句会

六月定例会（メール句会） 兼題「雨」「魚」

五十音順 特選は特選 石田きよし選

身の上に鐘の音落つる黴の宿 大崎石州

棒グラフに一喜一憂夏に入る 太田黒幸風

特 緑さす参道またぐ大鳥居 大森康政

特 店子の声ひとときは太き初鰹 竹内雲泉

久々の新茶届くと長電話 田中資凡

対向なき天城旧道風青し 長池豆陽

天も地も明るきままに緑雨かな 深見十方

特 鎖樋つたふしづくや合歡の花 藤田紀潮

葉桜の艶に晴ればれ万歩かな 宮下ひかる

酒は灘肴は鱧の湯引きかな 森田光彦

新茶よと言はれて背筋伸ばしけり 山縣秀雄

初鰹の大漁に笑む富嶽かな 吉岡誠山



我が墓碑や夏うぐひすのしきりなる 石田きよし